

教科		選 定 理 由
各学科に共通する教科（共通教科）	国語	生徒の実態に即し、程度が適当である。また、内容が系統的であり、配列や関連付けも適切で分量もよい。教科の目標を達成するよう、適切な創意・工夫もなされている。
	地理歴史	程度が、生徒の実態に即し、適当である。また、内容は系統的であり、配列や関連付けも適切で分量もよい。
	公民	程度が、生徒の実態に即し、適当である。また、内容は系統的であり、配列や関連付けも適切で分量もよい。
	数学	教科の目標を達成するよう、適切な創意・工夫がなされている。また、程度が生徒の実態に即し、適当である。
	理科	教科の目標を達成するよう、図や表、構成など適切な創意・工夫がなされている。また、程度が、生徒の実態に即し、適当である。
	保健体育	教科の目標を達成するよう、適切な創意・工夫がなされている。また、程度が生徒の実態に即し、適当である。
	芸術	程度が生徒の実態に即し適当である。また、内容が教科書科目の目標に適合している。
	外国語	教科の目標を達成するよう、適切な創意・工夫がなされている。また、程度が、生徒の実態に即し、適当である。
	家庭	内容が教科・科目の目標に適合しており、程度も生徒の実態に即し、適当である。
	情報	教科の目標を達成するよう、適切な創意・工夫がなされている。また、程度が生徒の実態に即し、適当である。
	理数	教科の目標を達成するよう、図や表、構成など適切な創意・工夫がなされている。また、程度が、生徒の実態に即し、適当である。